使用説明書

PENTAX® 645_N



カメラの正しい操作のため、ご使用前に必ずこの使用説明書をご覧ください。

このたびはペンタックスカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。645_N は、中判カメラでありながらオートフォーカス機能を備えている他、3点AFや0.3EV ステップの露出補正、メモリーロック、6分割測光、オートブラケッティング、多重露出、セルフタイマーなど多彩な機能を備えたカメラです。

各部の名称は表紙と裏表紙の内側にありますので、開いて各ページを読みながらご覧いただくこともできます。

記号について

操作の方法	←
自動的に動きます	4==
注目してください	0
点滅します	314

「林檎の秘密」

すぐに役立つ写真の基礎知識

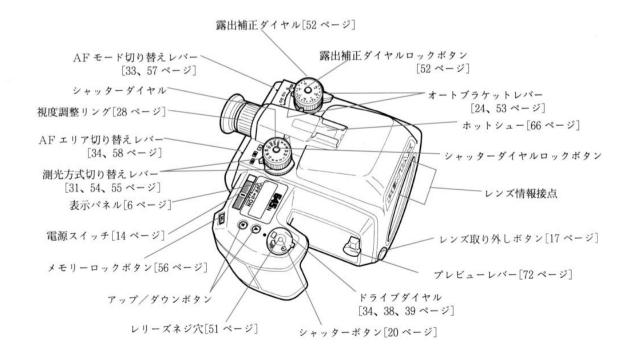


露出の仕組みや光の測り方、写真 ピントの合わせ方など写真 となるを豊富なイラスを説 作例でわかりり買い求めは、 ベンタックスサービス窓口・ ベンタックスファミリーま たは、最寄りのカメラ店で。



各部の名称を開いて見ながらお使いください。

各部の名称(1)



カメラを安全にお使いいただくために

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に 注意をしてお使いください。

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が重大な傷害を受ける可能性がある ことを示すマークです。

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が軽傷または中程度の傷害を受けた / 注意 り、物的損害の可能性があることを示すマークです。

⚠ 警告

- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお 子様がストラップを首に掛けないようにご注意く ださい。
- 望遠レンズを付けた状態で、長時間太陽を見ない でください。目を痛めることがあります。特に、 レンズ単体では、失明の原因になりますのでご注 意ください。

↑ 注意

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでく ださい。また、分解や充電をしないでください。 破裂・発火の恐れがあります。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こしたと きは、速やかに電池を取り出してください。この 場合、やけどに十分ご注意ください。

◯は、禁止事項を表わすマークです。

は、注意を促すためのマークです。

取り扱い上の注意

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンな どの有機溶剤は使用しないでください。
- ・高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温 になりますのでご注意ください。
- ・防虫剤や薬品を扱う所は避けてください。また、カ ビ防止のためケースから出して、風通しの良い所に 保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水 などが直接かかるところでは使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでくださ い。オートバイ・車・船などの振動は、クッション などを入れて保護してください。
- ・約60℃の高温では液晶表示が黒くなることがありま すが、常温に戻れば正常になります。
- ・低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることも ありますが、これは液晶の性質によるもので、故障 ではありません。
- レンズキャップを外した状態でカメラを三脚などに 取り付けたまま放置しないでください。太陽光によ りカメラ内部を痛めることがあります。

- レンズ、ファインダー窓のホコリはブロワーで吹き 飛ばし、きれいなレンズブラシで取り去ってくださ 110
- ・高性能を保つため、1~2年毎に定期点検をしてくだ さい。長期間使用しなかったときや、大切な撮影の 前には点検や試し撮りをしてください。
- ・急激な温度変化を与えると、カメラの内外に水滴が 生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、 温度差を少なくしてから取り出してください。
- カメラの使用温度範囲は-10℃~50℃です。
- カメラの中やフィルムバックにゴミや泥・砂・ホコ リ・水・有害ガス・塩分などが付かないようにご注 意ください。故障の原因になります。雨や水滴など が付いたときは、良く拭いて乾かしてください。

〈表示パネル〉

D 18888

:フィルム枚数[22 ページ] 88 BABA : フィルム感度値[24 ページ] ISO : フィルム感度 [24 ページ] : 電池消耗[15 ページ]

: 撮影データ写し込み[63ページ] D

〈ファインダー内表示〉



[]:オートフォーカスフレーム

(3点AFフレーム)[34 ページ]

1000 : シャッター速度

 $[42, 45, 47, 49 \sim - \varnothing]$

F88 : 絞り[42、45、47、49] :ストロボ情報[66ページ] : 合焦[ピント情報][36 ページ]

: 露出補正[52 ページ]

: メモリーロック [56 ページ] : バーグラフ[49、52、53ページ] : スポット範囲円[55、58ページ]

こんな写真を撮るには?



ピント関係

58、59	ントを合わせたい	画面の中央にない物にピ
44	て写真を撮りたい	ピントの合う範囲を変えて
58	ントを合わせたい	特定の狭い部分にだけピニ
たい72	の合う範囲を確認	ファインダー内でピントの

4 ストロボ関係

暗い所で写真を撮りたい	66
逆光の人物の顔を明るく写したい	70
夜景をバックに人物を撮影したい	71
結婚式など広い室内で写真を撮りた	とい66

露出[明るさ]関係

カメラ任せでなく明るさを自由に変えて写真を撮りたい 48、52
逆光の人物の顔を明るく写したい70
特定の狭い部分の明るさだけを測りたい55
露出をカメラに一時的に記憶させたい56



人物撮影関係

自分自身も写真に写りたい	39
逆光の人物の顔を明るく写したい	70
夜景をバックに人物を撮影したい	71

11

風景撮影関係

夜景を撮り	たい	50
夜景をバッ	クに人物を撮影したい	71



•	
動きの速いスポーツ写真を撮りたい	57
連続的にシャッターを切りたい	38
同じコマに重ねて写真を撮りたい	40

取り扱い上の注意	1
表示パネル/ファインダー内の表示ガイド	2
こんな写真を撮るには?	3
レンズ・アクセサリーとの組み合わせ	
使い方は簡単です	8
説明書の構成について	10
Iカメラの準備と基本操作	
ストラップを取り付けます	
電池を入れます	
電源を入れます	
・電池が消耗した場合	
レンズを取り付けます	16
120・220 フィルムバック 645 の着脱方法	
シャッターボタンの操作	
フィルムを入れます	
フィルム感度の設定方法	
フィルムの規定枚数が終了したら	
フィルムの途中巻き取り	
大型アイカップの取り付け方	27

ファインダーの視度を調整します………28

	10000							
ш	Ħ	-	ሐሓ	+-	1 = 1	1 1 +	「撮影	247
ш	本	Δ	HI	14	14 1	. 17	1100 5	75

プログラム自動露出に合わせます30
測光方式を分割測光にします31
オートフォーカスにします32
AF モードをシングルにします ·····33
3点AFにします34
1コマ撮影にします34
カメラの構え方35
撮影します36

Ⅲ応用的な使い方
ドライブモードを切り替えます38
• 連続撮影38
セルフタイマー39
多重露出について40
いろいろな露出モードを選びます42
プログラム自動露出の使い方42
絞り優先自動露出の使い方44
シャッター優先自動露出の使い方46
•マニュアル露出の使い方48
・バルブの使い方50
露出補正について52
オートブラケット撮影53
分割測光以外の測光モードを使ってみましょう54
• 中央重点測光54
• スポット測光55
メモリーロック撮影について56
AF モードをサーボにします57
スポットAFについて58

フォーカスロック 飯影について
手動によるピント合わせ60
撮影データをフィルムに写し込みます63
外付けストロボの使い方66
日中シンクロについて70
低速シンクロについて71
プレビュー(絞り込み)について72
専用アクセサリー[別売]について73
• 交換フォーカシングスクリーン74
絞りとシャッター速度の効果76
サービス窓口での改造について78
IVその他について
こんなときは?80
主な仕様82
お問い合わせは次の各サービス窓口へ84
アフターサービスについて87

レンズ・アクセサリーとの組み合わせ

レンズ・アクセサリーとの組み合わせ時の各機能

機能	レンズ単体での使用			レンズ + ヘリコイド 接写リング 注1		
	A645レンズ	FA645レンズ	A、FA645 レンズ	A、FA645 レンズ	67レンズ	
プログラム自動露出	0	0	0	×	. ×	
絞り優先自動露出	0	0	0	〇 注2	0	
シャッター優先自動露出	0	0	0	×	×	
マニュアル露出	0	0	0	〇 注2	0	
プログラムTTLオートストロボ撮影	0	0	0	×	×	
TTLオートストロボ撮影	0	0	0	0	0	
AF500FTZ、AF330FTZ使用時の 自動照射角変化	×	0	×	×	×	
絞りA位置でのファインダー内の絞 り値表示	0	0	△注3	×	×	
絞りA位置以外でのファインダー内 の絞り値目安表示	0	. 0	△注3	×	×	
オートフォーカス	×	0	×	×	×	
マニュアルフォーカス時のファイン ダー内合焦表示 注 4	○注5	〇注6	0	0	0	
分割測光、中央重点測光、スポット 測光切り替え	0	0	0	△注7	△注7	
フィルムへの焦点距離データの写し 込み	×	○注8	×	×	×	

注1: ヘリコイド接写リング同様、情報接点のないアクセサリーはこの項目にあてはまります。

注2:絞り込み測光になります。

注3:オート接写リングA使用時は、全てのレンズでレンズの絞り値そのままが表示されます。

リアコンバーターA645 2X使用時は、全てのレンズでレンズの絞り値がそのまま表示されます。 リアコンバーターA645 1.4Xは、専用設計のため、A*645 300mmF4・FA*645 300mmF4 以外の

レンズとの組み合わせでは表示内容に違いを生じます。

[レンズの絞り値をそのまま表示]

• FA645 300mmF5.6 • FA645 400mmF5.6 • A*645 600mmF5.6

[組み合わせるレンズとの合成絞り値を表示]

- A645 200mmF4 FA645 200mmF4 A*645 300mmF4 FA*645 300mmF4
- A645 マクロ 120mmF4 FA645 マクロ 120mmF4

[組み合わせるレンズの2絞り絞った値を表示]

(例) レンズの絞り値がF4の場合、F8を表示

• FA645 150mmF2.8

注4:レンズ単体、もしくはアクセサリーと組み合わせた場合の合成換算絞り値がF5.6以上明るい場合のみ。

注5: A645マクロ120mmF4は、等倍~1/2倍においての作動は保証できません。

AFェリアの設定が3点AFになっている場合でも、合焦表示はスポット AF でおこなわれます。

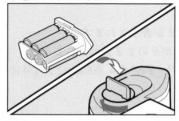
注6: AFエリアの設定が3点AFになっている場合は、合焦表示も3点AFでおこなわれます。

注7:分割測光を選択しても中央重点測光になります。

注8:FA645 45~85mmF4.5、FA645 80~160mmF4.5は近似値が写し込まれます。

7

1)電池を入れてください



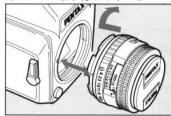
電池ホルダーに単3電池6本を入れカメラに取り付けます。[12ページ]

4) シャッターダイヤルを A 位置 にしてください



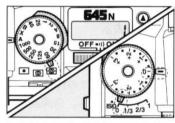
図のボタンを押しながら回します。 これでプログラム自動露出になり ます。[30 ページ]

2) レンズを取り付けてください



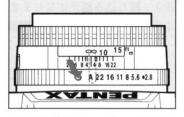
レンズとカメラのマウント指標[赤点]を合わせてはめ込み、右に回してロックします。[16ページ]

5)各設定を下記のようにします



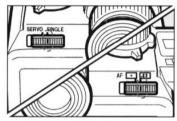
測光方式を分割 ■ に、露出補正 を0に、オートブラケットを0にし ます。[31、52、53 ページ]

3)絞りを A 位置にしてください



レンズの絞りオートロックボタン を押しながら絞りを A 位置に合 わせます。[30ページ]

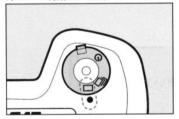
6)各設定を下記のようにします



AF モードを SINGLE に、AF エリアを 3 点AF () にします。 [33、34 ページ]

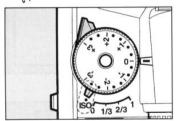
9

7) 1コマ撮影にします



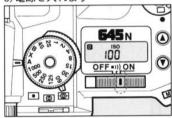
ドライブダイヤルを □ にします。 [34 ページ]

10)フィルム感度を合わせてください



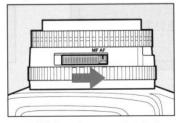
オートブラケットレバーを [ISO] 位置にし、アップ・ダウンボタンでフィルム感度を合わせます。[24ページ]

8)電源を入れます



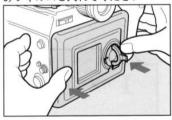
電源スイッチを ON 位置にします。 [14 ページ]

11)オートフォーカスにしてください



レンズをオートフォーカスにセットします。[32 ページ]

9)フィルムを入れてください



フィルムバックにフィルムを入れ、 カメラにセットします。[22ページ]

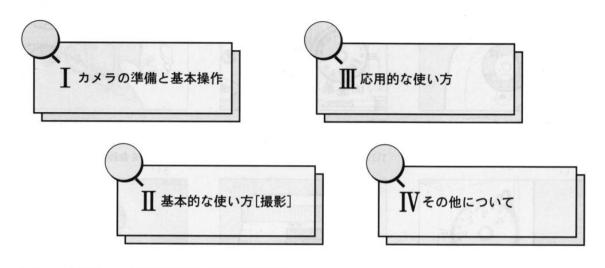
12)ピントを合わせて撮影してください



写したいものに 3 点 AFフレーム [] を合わせて、シャッターボ タンを静かに押して撮影します。 [36 ページ]

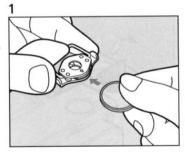
説明書の構成について

説明書を効果的にご使用いただくために、次のような構成になっています。

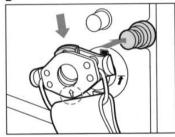


●とにかく撮影をしてみたい方は「カメラの準備と基本操作」と「基本的な使い方[撮影]」をお読みくださ い。最小限の操作を知っていただくだけで簡単な撮影がお楽しみいただけます。

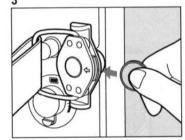
Tカメラの準備と基本操作 ストラップを取り付けます



1. コインなどでファスナーの ロック板を矢印方向に押す とロックが解除されます。



2. ファスナーの点線で示す矢 印部分を手前に見えるよう にして、穴を吊り金具に入 れ、ロック板を元に戻すと ロックされます。

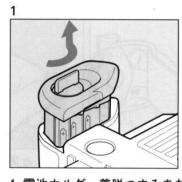


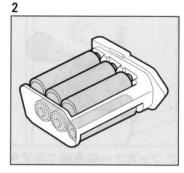
3. 取り外す時は、手順1.と同 じようにロック板を矢印方 向に押してください。

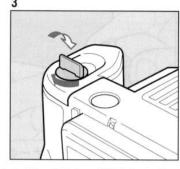
- * ストラップの長さは、留め具で調整してください。
- * ストラップの取り付け後、ストラップを引っ張り確実にロックされていることを確認してください。
- * ストラップにはポケットが付いていますので、小物入れとしてご利用ください。

カメラの準備と基本操作

雷池を入れます







- 1. 電池ホルダー着脱つまみを起こし、矢印方向 に回して電池ホルダーを取り出します。
- 2. 単3電池6本をカメラの表示に合わせて入れ ます。
- 3. カメラに電池ホルダーを入れ、電池ホルダー 着脱つまみを図の方向に回してロックをし、 電池ホルダー着脱つまみを元の位置に戻しま

- * このカメラは電池がないと動きませんので、操作をする前には、必ず決められた単3電池を6個入れてください。サンプ ルの電池が添付されていますので、この電池をお使いください。
- * 電池を入れ替えてもフィルム感度やフィルム枚数はそのまま記憶されています。
- * 海外旅行・寒冷地での撮影や写真をたくさん撮るときは、予備電池をご用意ください。別売りのリモートバッテリーパッ ク645(外部電源)を外部電源ソケットに差し込んでご使用いただくこともできます。
- * 電池を交換するときは、全部を一度に、同一メーカー・同一種類で行なってください。また、新しい電池と古い電池を混 ぜないでください。
- * 長い間使わないときは電池を取り出しておいてください。液漏れの原因となります。

撮影可能フィルム本数およびバルブ時間 [20℃] 新品電池で当社試験条件による。

	アルカリ電池	単3リチウム電池
120 フィルム	約130本	約 320 本
220 フィルム	約100本	約 250 本
バルブ露出時間	約8時間	約 12 時間

撮影可能フィルム本数およびバルブ時間 「-10℃」 新品電池で当社試験条件による。

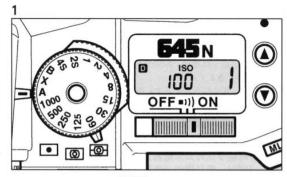
	アルカリ電池	単3リチウム電池
120 フィルム	約7本	約120本
220 フィルム	約5本	約90本
バルブ露出時間	約6時間	約 10 時間

- * 撮影可能フィルム本数は、使用条件によって変わりますのでご注意ください。
- * 低温では、一時的に電池の性能が低下することがありますが、常温に戻れば使用できます。また、撮影できるフィルム本 数が少なくなります。
- * Ni-Cd電池もご使用いただけますが、電池の種類によるばらつきが大きく、また低温ではバッテリー警告が出やすいため、 できるだけアルカリ電池か単3リチウム電池をお使いください。
- * 同梱されている電池はサンプル用の電池のため、上記のフィルム本数を撮影できないことがあります。

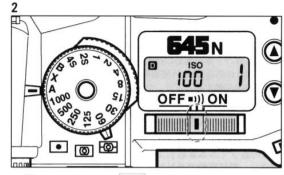
カメラの準備と基本操作

カメラの準備と基本操作

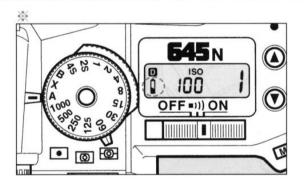
電源を入れます



1. 電源スイッチを ON 位置にすると電源が入 り、電源スイッチを OFF 位置にすると電源 が切れます。



- 2. 電源スイッチを 👊 位置にするとピントが 合ったときに「ピピッ」と電子音が鳴ります。
 - * 使わないときは、必ず電源を切っておいてください。 シャッターボタンが押されると電池が消耗します。
 - * 電源が OFF 位置でも表示パネルのフィルム枚数表示 は常に表示されます。



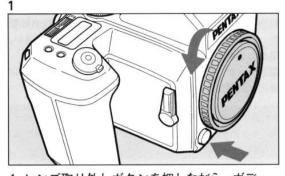
※電池が消耗した場合

電池が消耗すると、図のように表示パネルに電池消耗警 告 🛘 が点灯します。お早めに電池を交換してください。 電池の交換は12ページをご覧ください。

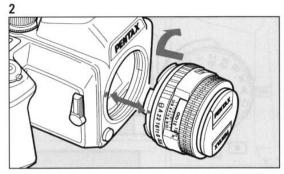
電池マーク 1 が出たままでも、シャッターが切れれば 露出に問題はありません。

* 表示パネルの電池消耗警告 ① が点滅になると、ファ インダー内の表示は消え、カメラが作動しなくなりま す。

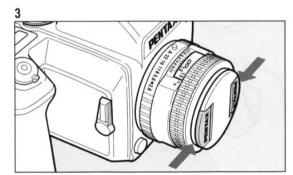
17



レンズ取り外しボタンを押しながら、ボディーマウントキャップを外します。

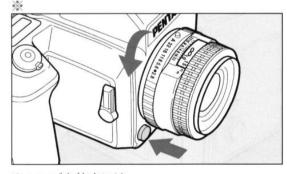


- レンズのマウントキャップを外しカメラとレンズの赤点のマウント指標を合わせて、レンズをカメラにはめ込み、レンズを右に回すと「カチッ」と音がしてロックされます。
- * レンズ取り付け時は、レンズ取り外しボタンを押さないでください。レンズの取り付けが不完全になります。
- * レンズ取り付け後は、レンズを取り付け方向とは逆に 軽く回して、確実に取り付いていることを確認してく ださい。



3. レンズキャップは、矢印部分を内側に押すと外れます。

- * オートフォーカス対応でない従来レンズ[Aレンズ]もこのカメラに取り付けてほとんどの機能がそのまま使用できます。ただし、オートフォーカスは働きません。
- * 他社製レンズを本製品に使用されたことによる事故、 故障などにつきましては保証いたしかねます。
- * カメラやレンズのマウント面には、レンズ情報接点やA Fカプラーがあります。この部分にゴミや汚れが付いた り、腐食が生じると、電気系のトラブルの原因になる 場合があります。汚れたときは、乾いた柔らかい布で きれいに拭いてください。

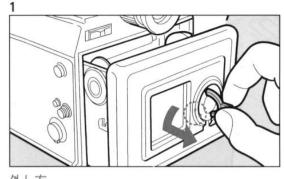


※レンズを外すには

レンズを外すときは、レンズ取り外しボタンを押したまま、レンズを左へ回してください。

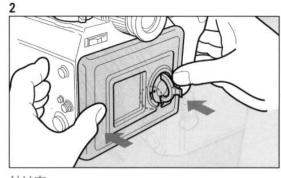
* 外したレンズは、マウント周辺を傷付けないため、カメラに取り付く面を下にして置かないでください。

カメラの準備と基本操作



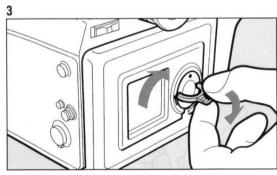
外し方

1. フィルムバック着脱つまみを起こして、赤点 部分まで回し更に左に回すとフィルムバック が外れます。



付け方

2. 図の赤点部分が合っていることを確認後、フィ ルムバックの左右の端を「カチッ」と音がす るまで押し込んでカメラに差し込んでくださ .610



3. フィルムバック着脱つまみを右に 90°回して ロックします。フィルムバック着脱つまみは 下に倒しておきます。

- フィルムバックの上下を逆にして無理に入れると故障 の原因になります。
- * 別売りの 220 フィルムバックも操作は同様です。

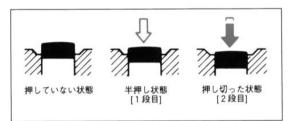
カメラの準備と基本操作

シャッターボタンは2段階になっています。

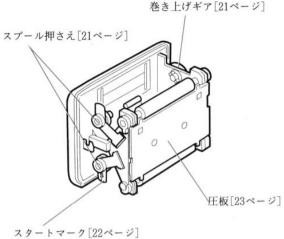
シャッターボタンを半押しすると[1段目まで押す]、ファインダー内の表示が表示され、オートフォーカスが働きます。

さらにシャッターボタンを押し切る[2段目まで押す]と、シャッターが切れ撮影できます。

- * シャッターボタンは、カメラぶれを防ぐためにも、指 の腹でゆっくり押してください。
- * フィルムを入れる前に、実際にシャッターボタンを押 してみて、どこまで押すと半押しになるのか、感覚を つかんでください。
- * ファインダー内表示は、シャッターボタンを半押ししてから約10秒間は指を離しても表示されたままになります。なお、シャッターボタンの半押しを続けると、表示は継続します。

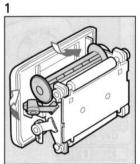


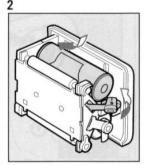
フィルムを入れます



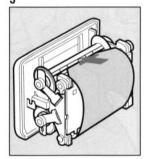
フィルムを入れた後、必ずフィルム感度の設定を行ってください。24ページをご覧ください。

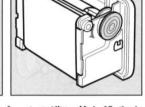
0.1



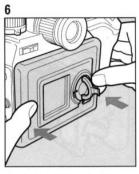


- 1. 空スプールを図の位置に入れ、スプール押さ えで止めます。
- 2. 新しいフィルムのシールをはがし、黒い何も 書かれていない面が外側になるようにフィル ムバックに入れ、スプール押さえで止めます。





- 3. フィルム先端を空スプールの溝に差し込みます。
- 4. フィルムを軽く押さえながら巻き上げギヤを 矢印方向に回します。



- 5. 巻き上げギヤを回していくと、図のようにス タートマーク(矢印)が出てきますので、フィ ルムバックのスタートマーク S (赤線)に合 わせてください。
- 6. フィルムバックをカメラにセットします。
 - *フィルムバックをセットする際は、カメラに電池が入っ た状態で行ってください。





- 7. 電源スイッチを ON にして、シャッターボタ ンを押すと自動的にフィルムが1枚目まで送 られ、表示パネルに / が表示されます。
- 8. 表示パネルの E 表示が点滅しているとき は、フィルムが正しく入っていません。もう 一度正しく入れ直してください。
 - *多重露出がセットされている状態では、表示パネルのフィ ルム枚数の ① が点滅します。多重露出を解除し、シャッ ターボタンを押し直してください。
 - *手順「7」で、シャッターボタンを押す前には、表示パ ネルに 0 が表示されます。

- *フィルムには直射日光が当たらないようにご注意くださ U10
- *カメラの操作に慣れるまでは、カメラにフィルムを入れ ないで練習されることをお勧めします。
- *表示パネルのフィルム枚数表示は、撮影するごとに1つ ずつ進みます。
- *フィルム傷の原因になりますので、圧板は常にきれいに しておいてください。ごみや汚れが付いたときは、きれ いな布で拭いてください。
- *空スプールの溝から飛び出たフィルム先端部分はスプー ルに沿って折り曲げてください。フィルムのゆるみや太 巻きの原因になります。
- *フィルムの入っていないフィルムバックをカメラに取り 付けた場合、まれに表示パネルの E 表示が点滅しま す。この場合、フィルムバックの着脱を何度かして E 表示が消えればそのままお使いいただけます。

- *220フィルムの場合、スタートマークの矢印の前に点線 のマークが出てきます。この点線をスタートマークに合 わせますと、最初の約3枚分が未露光となります。
- *スタートマークより後側に合わせると、最後のコマが正 しく露光されなくなります。
- *撮影途中でのフィルムバックの交換はできません。
- *120フィルムでは16枚、220フィルムでは33枚の撮影 が可能です。

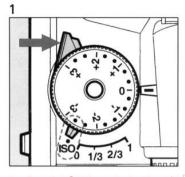
23

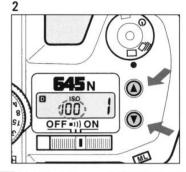
カメラの準備と基本操作

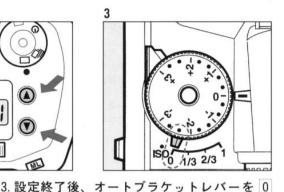
カメラの準備と基本操作

カメラの準備と基本操作

フィルム感度の設定方法

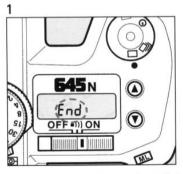


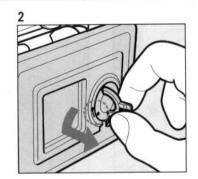


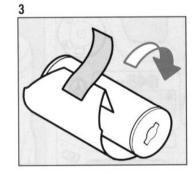


- 1. オートブラケットレバーを ISO 位置に押し つけます。
 - 位置に戻します。
 - *オートブラケットレバーから指を離すと自動的に 0位 置に戻ります。
- 2. アップ・ダウンボタンで感度を設定してくだ さい。アップボタン ▲ では数字が大きい方 に、ダウンボタン ▼ では数字が小さい方に 変化します。
- *オートブラケットレバーが ISO 位置では表示パネルの ISO 表示が点滅し、ファインダー内の表示は消えます。
- *フィルム感度は ISO6~6400 の間で 1/3 段階毎に設定で きます。
- *フィルムバックのメモホルダーに使用フィルムの箱のふ たを切り取って入れ、フィルム種類の確認用としてご利 用ください。
- *表示パネルのフィルム感度値と ISO 表示は電源が ON であれば常に表示されます。

フィルムの規定枚数が終了したら



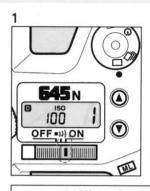


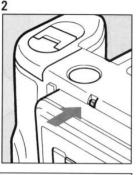


- 1. フィルムを最後まで撮り終えると、自動的に 巻き取って停止し、表示パネルに End が表 示されます。
- 2. フィルムバックをカメラから外します。
- 3. フィルムを取り出し、先端を内側に折り曲げ てからフィルムに付いているシールでフィル ムがたるまないように止めてください。
- *フィルムには直射日光が当たらないようにご注意くださ
- *フィルムバックを外すと表示パネルのフィルム枚数表示 は消えます。

カメラの準備と基本操作

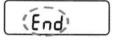
フィルムの途中巻き取り





フィルムを最後まで撮り終わらないうちに、途中で 取り出したいときに使います。

- 1. 電源スイッチを ON 位置にします。
- 2. 途中巻き取りボタンをペンの先などで押すと、 フィルムを最後まで巻き取ります。
- 表示パネルの End 表示を確認してから、フィルムバックをカメラから外しフィルムを取り出します。 End が表示されないときは、再度途中巻き取りボタンを押してみてください。



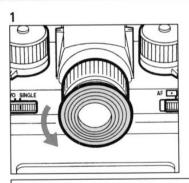


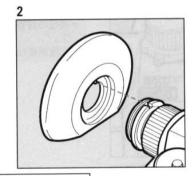


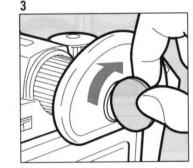
- 4. 先端を内側に折り曲げてからフィルムに付いているシールでフィルムがたるまないように止めてください。
 - *途中巻き取りボタンは止まる位置まで完全に押し込んでください。フィルムが正しく巻き取られない場合があります。
 - *フィルムは直射日光が当たらないところで取り出してく ださい。
- *フィルムバックを外すと表示パネルのフィルム枚数表示 は消えます。
- *フィルム巻き取り中は、表示パネルのフィルム枚数表示が順に増えていきます。

大型アイカップの取り付け方

21



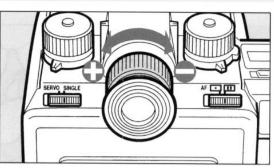




このカメラには、標準のアイカップの他に大型のアイカップが付属しております。お好みで使い分けてください。

取り付け方

- 図の部分を左に回して標準アイカップを外します。
- 2. 大型アイカップの固定ピンとアイピースの溝を合わせて取り付けます。
- 3. コインなどを溝に入れて右に回して固定します。
- *大型アイカップを外すときは逆の操作で行います。
- *レフコンバーターなどのアクセサリーを取り付けるとき は、アイカップを外してから行います。
- *1円、50円など小さな径の硬貨を使用すると、ファインダーの接眼レンズに接触し、傷を付ける恐れがあります。



カメラを明るい方へ向けて、図のように視度調整リングを回し、ファインダー内のオートフォーカスフレーム [] の線が最もはっきり見える位置に調整します。

視度は時計方向に回すと - 側、反時計方向に回すと + 側に調整されます。

- * 視度の調整範囲は、-3.5~+1m⁻¹ [毎メートル] です。
- * 視度調整はご使用前に必ず行ってください。

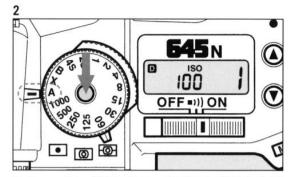
II 基本的な使い方[撮影]

29

10 15 ft m 26 8 4 4 8 16 22 A 22 16 11 8 5.6 • 2.8

このモードは、最も簡単な露出モードで、カメラが 自動的に露出合わせをしますので、シャッターボタ ンを押すだけで簡単に撮影が楽しめます。

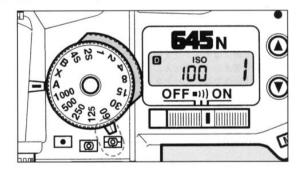
- 紋りオートロックボタンを押しながら、レンズの絞りを A 位置に合わせます。
 - *レンズの絞りを A 位置から外す場合にも、絞りオートロックボタンを押しながら回してください。



- 2. シャッターダイヤルロックボタンを押しながら、シャッターダイヤルを A 位置に合わせます。
 - *シャッターダイヤルを A 位置から外す場合にも、シャッターダイヤルロックボタンを押しながら回してください。
- *他の露出モードについては44、46、48、50ページをご覧ください。

測光方式を分割測光にします

31



分割測光では、画面内を分割して明るさを測っていますので、逆光など様々な条件でも最適な露出を得ることができます。

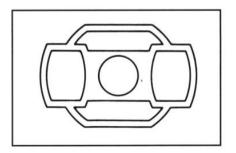
測光方式切り替えレバーを図の緑の部分を持って ■ 位置に合わせます。

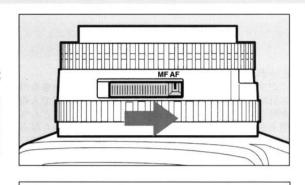
*67レンズ用アダプター645やヘリコイド接写リング645など、絞り A 位置で使用できないアクセサリーを付けた場合、分割測光を選択しても中央重点測光になります。

*このカメラには、分割測光以外に中央重点測光およびスポット測光があります。54、55ページをご覧ください。

6分割測光について

このカメラの分割測光では、図のように、画面内を6つに分割して明るさを測っていますので、逆光などで人物が暗くなってしまうような条件でも、どの部分にどんな明るさの物があるかをカメラが判断し、人物が暗くならないように自動的に補正を行ないます。ですから、初心者の方でも安心して撮影を楽しんでいただけます。





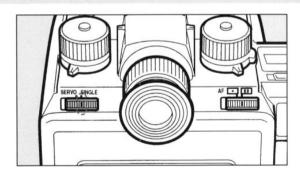
オートフォーカスでは、シャッターボタンを半押し するだけで自動的にピント合わせが行なわれます。

レンズ側をオートフォーカスに切り替えます。

- *レンズ側の切り替え方法はレンズによって異なります。 詳しくは、レンズの説明書をご覧ください。
- *カメラ側にはオートフォーカスとマニュアルフォーカス の切り替えはありません。
- *このカメラでは、オートフォーカスを使わずに、手動で ピント合わせをすることもできます。詳しくは、60 ベー ジをご覧ください。
- *Aレンズ[LSレンズを含む]ではオートフォーカスは働き ません。

AF モードをシングルにします

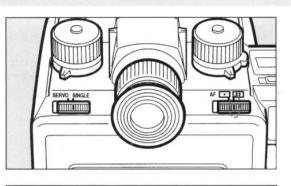
33



オートフォーカスで最も一般的なモードです。シャッターボタンを押してもピントが合っていないとシャッターが切れませんので、安心して撮影できます。

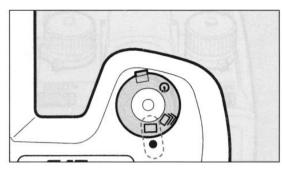
AF モード切り替えレバーを SINGLE 位置に合わせます。

- *オートフォーカスのモードには、他にサーボモードがあります。57ページをご覧ください。
- *Aレンズ[LSレンズを含む]では手動のピント合わせになります。この場合、ピントが合っていなくてもシャッターは切れます。



3点 AF では、ファインダー内の [] の内側で ピント合わせを行います。一般的な撮影では、この モードをご利用ください。

AF エリア切り替えレバーを () 位置に合わせ ます。



シャッターボタンを押し切ったままでも、1回だけ シャッターが切れる最も一般的なモードです。

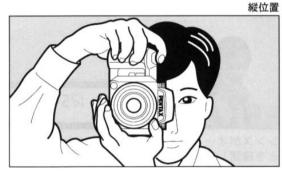
ドライブダイヤルを回して □ 位置に合わせ ます。

カメラの構え方



撮影するときは、カメラの構え方が大切です。

- 図のようにカメラを両手でしっかりと持って ください。
- シャッターボタンは指の腹で静かに押します。 [強く押すとカメラが動いてしまい、きれいな 写真が撮れません。]



*木や建物・テーブルなどを利用して、体やカメラを安定 させると効果があります。

*個人差はありますが、一般的には焦点距離の逆数が手持 ちの限界シャッター速度とされています。例えば、焦点 距離が 75mm では 1/75 秒、150mm では 1/150 秒な どです。これ以下のシャッター速度になる場合には、な るべく三脚を使用してください。三脚用の穴には縦位置 用と横位置用の2種類があります。

三脚を使用する場合は、別売りの「ケーブルスイッチF」 あるいは「ケーブルレリーズ」の利用をお勧めします。

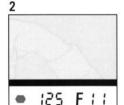
*望遠レンズで三脚を使用するときは、カメラやレンズの 総重量より重い三脚を使うとカメラぶれ軽減に効果があ ります。

基本的な使い方

基本的な使い方

撮影します

1



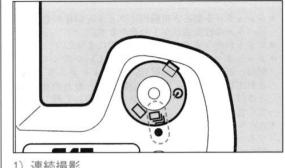
レンズがオートフォーカスに設定されているこ とを確認します。

- 1. 写真で示すように、ファインダー内の3点AF フレーム [] の内側に写したいものを合わ せ、シャッターボタンを半押しすると、自動 的にピント合わせが行なわれます。
- 2. ピントが合うと、図のようにファインダー内 の 〇 が光ります。
- 3. さらにシャッターボタンを押し切ると撮影で きます。

- *シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内にシャッ ター速度と絞り値が表示されます。
- *中央の狭い範囲だけにピントを合わせたいときは、58ペー ジをご覧になり、スポットAFをご利用ください。
- *ピントが合ったときに電子音を鳴らすことができます。 14ページをご覧ください。
- *オートフォーカス作動中は、レンズの距離リングに手を かけたり回転を妨げたりしないでください。
- が点滅を続けるときは、以下の理由でピン ト合わせができないときです。
- ①撮影距離が近すぎる もう少し離れて撮影してください。
- ②オートフォーカスの苦手な物の場合。62ページをご覧 ください。

- *シャッターを切ると自動的にフィルムが巻かれ、表 示パネルの枚数表示が1つ進みます。
- *ピントが合うまでシャッターは切れません。
- *シャッターボタンを半押しして、〇 が光っている 間は、ピントがその位置で固定[フォーカスロック] されていますので、別のものにピントを合わせ直す ときは、シャッターボタンから指を離して押し直し てください。
- *AFモード切り替えレバーが SINGLE で、ドライ ブモードが連続撮影 🖳 のときは、ピント合わせは 1コマ目のみ行われます。2コマ目からは、1コマ目 で合わせたピントのまま連続的にシャッターが切れ ます。
- *プリント時に画面周辺の物がカットされることがあ ります。構図に少し余裕を持たせてください。
- *レンズシャッター付レンズを使用しているときは、 シャッター速度に LS が表示されます。

ドライブモードを切り替えます



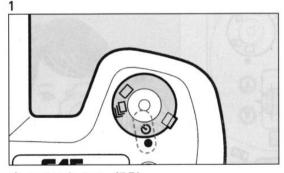
Ⅲ応用的な使い方

1) 連続撮影

シャッターボタンを押している間、連続的にシャッ ターが切れます。

ドライブダイヤルを回して 🖳 位置に合わせ ます。

*FAモード切り替えレバーが SINGLE では、ピント合 わせは1コマ目のみ行われます。2コマ目からは、1コ マ目で合わせたピントのまま連続的にシャッターが切れ ます。

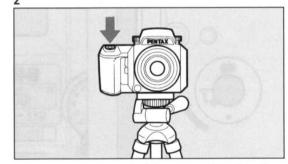


2) セルフタイマー撮影

セルフタイマー撮影は、撮影者も入って記念撮影な どをするときに使います

シャッターボタンを押すと、約12秒後にシャッター が切れます。

1. ドライブダイヤルを回して \delta 位置に合わ せます。

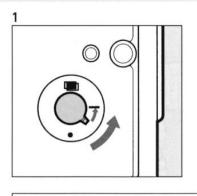


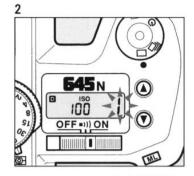
- 2. シャッターボタンを半押しして写したいもの にピントを合わせ、シャッターボタンを押し 切るとセルフタイマーが始動します。
 - *セルフタイマーの作動中は電子音で知らせ、シャッター が切れる約2秒前から、電子音も速い断続音「ピッピッ ピッ」になります。
 - *セルフタイマーを始動後に中止したいときは、ドライブ ダイヤルを 🕲 以外の位置にするか電源を切ってくだ さい。

応用的な使い方

41

多重露出について

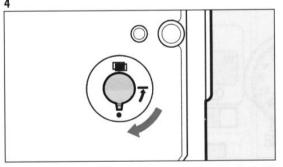




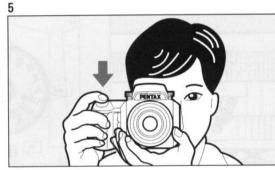


フィルムの同じコマに重ねて撮影できますので、アイデア次第でおもしろいトリック写真などを作ることができます。

- 3. 多重露出レバーがこの位置では、シャッター を切ってもフィルムは巻かれません。
- 多重露出レバーを矢印方向に止まるまで回します。
- 2. 表示パネルのフィルム枚数が点滅します。



4. 多重露出の最後のコマのシャッターを切る前に多重露出レバーを元の位置に戻します。

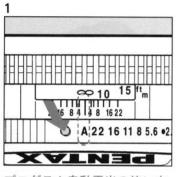


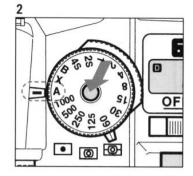
- 5. シャッターボタンを押して撮影を行うとフィルムは次のコマまで巻かれます。
 - *例えば3コマの多重露出の場合、2コマ目の撮影後、多 重露出レバーを元の・ 位置に戻してから3回目のシャッ ターを切ります。
 - *多重露出では、暗いものを背景にして、ストロボ光を当 てた人物などを重ねると比較的良い結果が得られます。
 - *多重露出をセット後に解除したい場合は、多重露出レバー を矢印と反対方向に回してください。
 - *多重露出では、撮影したコマにずれを生じることがあります。

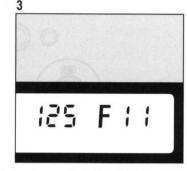
応用的な使い方

応用的な使い方

いろいろな露出モードを選びます







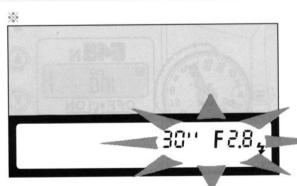
プログラム自動露出の使い方

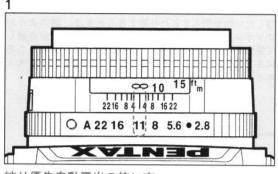
プログラム自動露出は、カメラが自動的に露出を決 定しますので、シャッターボタンを押すだけで簡単 に撮影が楽しめます。

- 1. 絞りオートロックボタンを押しながら、 絞り を A 位置に合わせます。
- *レンズの絞りを A 位置から外す場合にも、絞りオート ロックボタンを押しながら回してください。
- 2. シャッターダイヤルロックボタンを押しなが ら、シャッターダイヤルを A 位置に合わせ ます。
- 3. シャッターボタンを半押しすると、ファイン ダー内にシャッター速度と絞り値が表示され ます。
- *シャッターダイヤルを A 位置から外す場合にもシャッ ターダイヤルロックボタンを押しながら回してください。

※露出警告

写したい物が明るすぎたり暗すぎるときは、図のように ファインダー内のシャッター速度と絞り値表示が点滅し て警告します。明るすぎるときは、もう少し暗いところ にカメラを向け直してください。暗すぎるときは、スト ロボなどをご利用ください。

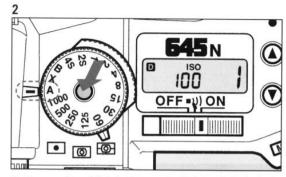




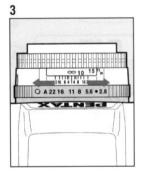
絞り優先自動露出の使い方

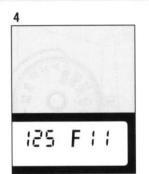
希望の絞りに合わせると、写す物の明るさに応じてシャッター速度が自動的に変わります。ピントの合う範囲を広くしたい風景写真や、背景をぼかしたい人物の撮影などに適しています。絞りの効果については、77ページをご覧ください。

- 1. 絞りを A 位置以外に合わせます。
- * レンズの絞りを A 位置から A 位置以外にする場合には、絞りオートロックボタンを押しながら回してください。

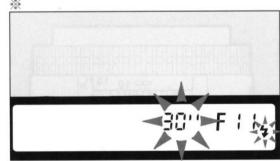


- 2. シャッターダイヤルロックボタンを押しながら、シャッターダイヤルをA位置に合わせます。
- *シャッターダイヤルを A 位置から外す場合にも、シャッターダイヤルロックボタンを押しながら回してください。





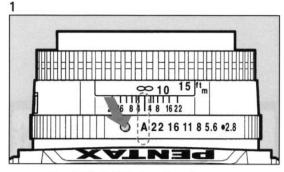
- 3. 絞りリングで好みの絞りを選びます。
- 4. シャッターボタンを半押しすると、ファイン ダー内に絞り値の目安とシャッター速度が表示されます。
 - *ファインダー内に表示される絞り値は目安表示です。従って、絞りリングでセットした絞りと表示される絞り値は 必ずしも一致しません。特に、A45~85mmF4.5 レンズ では小絞り側に、A150mmF3.5 レンズでは開放絞り側 に絞り表示がずれ易くなっていますのでご注意ください。



※露出警告

写したい物が明るすぎたり暗すぎるときは、図のようにファインダー内のシャッター速度表示が点滅して警告します。明るすぎるときは絞りを小絞り側[数字の大きい方]に、暗すぎるときは絞りを開放側[数字の小さい方]にして点滅が止まれば撮影できます。

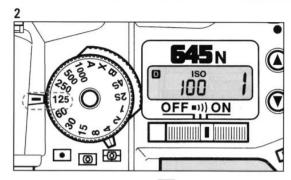
なお、シャッター速度表示と絞り値表示の両方が点滅した場合は測光範囲外ですから、絞りを変えても適正露出は得られません。明るすぎるときは、もう少し暗いところにカメラを向け直してください。暗すぎるときは、ストロボなどをご利用ください。



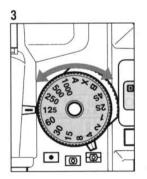
シャッター優先自動露出の使い方

希望のシャッター速度に合わせると、写したい物の明るさに応じて絞りが自動的に変わります。速い速度で動きを止めたり、遅い速度で動感を出すのに適しています。シャッター速度の効果については、76ページをご覧ください。

- 1. 絞りオートロックボタンを押しながら、絞り を A 位置に合わせます。
- *レンズの絞りを A 位置から外す場合にも、絞りオートロックボタンを押しながら回してください。



- 2. シャッターダイヤルを A 位置以外に合わせ ます。
 - *シャッターダイヤルを A 位置から A 位置以外にする 場合には、シャッターダイヤルロックボタンを押しなが ら回してください。



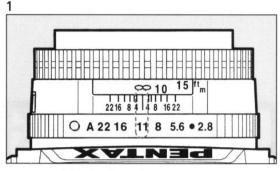


- 3. シャッターダイヤルで好みのシャッター速度 を選びます。
- シャッターボタンを半押しすると、ファイン ダー内にシャッター速度と、絞り値が表示されます。
 - *ストロボ撮影で、シャッター速度を 1/60 秒に固定したい場合や、シャッター速度が自動的に切り替わらないストロボを使用するときはシャッターダイヤルを X (1/60 秒) 位置に合わせてください。シャッターダイヤルを X 位置にしたり、 X 位置から外す場合は、シャッターダイヤルロックボタンを押しながら回してください。



※露出警告

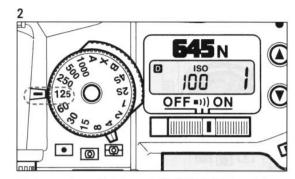
写したい物が明るすぎたり暗すぎるときは、図のようにファインダーの絞り値表示が点滅して警告します。明るすぎるときはシャッター速度を速く、暗すぎるときはシャッター速度を遅くして点滅が止まれば撮影できます。なお、シャッター速度表示と絞り値表示の両方が点滅した場合は測光範囲外ですから、シャッター速度を変えても適正露出は得られません。明るすぎるときは、もう少し暗いところにカメラを向け直してください。暗すぎるときは、ストロボなどをご利用ください。



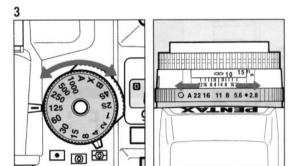
マニュアル露出の使い方

常に同じシャッター速度と絞りの組み合わせで撮影をする場合や、意図的に露出オーバー[明るい写真]や露出アンダー[暗い写真]にするときに使います。

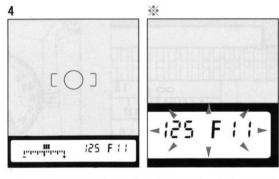
- 1. 絞りを A 位置以外に合わせます。
- * レンズの絞りを A 位置から A 位置以外にする場合には、絞りオートロックボタンを押しながら回してください。



- シャッターダイヤルを A 位置以外に合わせます。
- *シャッターダイヤルを A 位置から A 位置以外にする 場合には、シャッターダイヤルロックボタンを押しなが ら回してください。
- *ストロボ撮影で、シャッター速度を 1/60 秒に固定したい場合や、シャッター速度が自動的に切り替わらないストロボを使用するときはシャッターダイヤルを X (1/60 秒) 位置に合わせてください。シャッターダイヤルを X 位置にしたり、 X 位置から外す場合はシャッターダイヤルロックボタンを押しながら回してください。



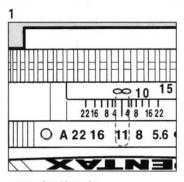
- 3. シャッターダイヤルで好みのシャッター速度を、絞りリングで好みの絞りを選びます。
- 4. シャッターボタンを半押しすると、ファイン ダー内に絞り値の目安とシャッター速度およ びバーグラフが表示されます。

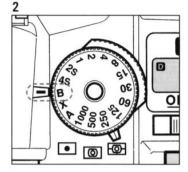


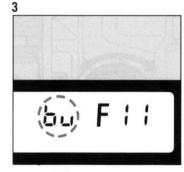
*ファインダー内に表示される絞り値は目安表示です。従って、絞りリングでセットした絞りと表示される絞り値は 必ずしも一致しません。特に、A45~85mmF4.5 レンズ では小絞り側に、A150mmF3.5 レンズでは開放絞り側 に絞り表示がずれ易くなっていますのでご注意ください。

※露出警告

写したい物が明るすぎたり暗すぎて、シャッター速度表示と絞り値表示の両方が点滅したときは、測光範囲外ですから、シャッター速度や絞りを変えても適正露出は得られません。明るすぎるときは、もう少し暗いところにカメラを向け直してください。暗すぎるときは、ストロボなどをご利用ください。







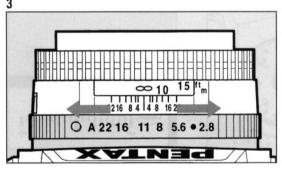
バルブの使い方

花火、夜景などの撮影で長時間シャッターを開いて おく必要のあるときにご利用ください。シャッター ボタンを押している間、シャッターが開き続けます。

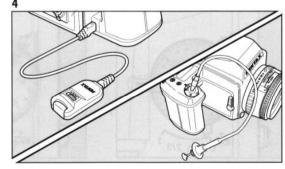
- 1. 絞りを A 位置以外に合わせます。
 - *レンズの絞りを A 位置から A 位置以外にする場合に は、絞りオートロックボタンを押しながら回してくださ

- 2. シャッターダイヤルを B 位置に合わせます。
- 3. シャッターボタンを半押しすると、ファイン ダー内に bo と絞り値の目安が表示されま
 - *絞りを A 位置にすると、常に最小絞りで撮影されてし まいますのでご注意ください。
 - *ファインダー内に表示される絞り値は目安表示です。従っ て、絞りリングでセットした絞りと表示される絞り値は 必ずしも一致しません。特に、A45~85mmF4.5 レンズ では小絞り側に、A150mmF3.5 レンズでは開放絞り側 に絞り表示がずれ易くなっていますのでご注意ください。

応用的な使い方



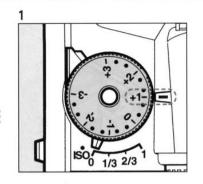
3. 絞りリングで好みの絞りを選びます。

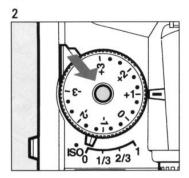


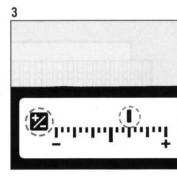
4. バルブで撮影するときは、ぶれ防止のためしっ かりした三脚を使用し、別売りの「ケーブル スイッチF」をレリーズソケットに付いてい るレリーズキャップFを外してから差し込む か、「ケーブルレリーズ」をレリーズソケット に差し込んでご利用ください。

- *「ケーブルレリーズ」あるいは「ケーブルスイッチF」で もシャッターボタンの半押しができますので、オートフォー カスを作動させたり、ファインダー内表示を点灯させる ことができます。
- *新品電池でのバルブ撮影可能時間については、13ページ をご覧ください。

51







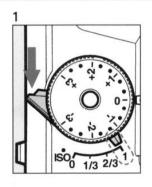
意図的に露出オーバー[明るい写真]や露出アンダー [暗い写真]にしたいときなどに使います。

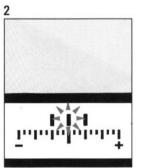
- 1. 露出補正ダイヤルを回して、好みの補正値を 選びます。
- 2. 露出補正ダイヤルは、① 位置でロックされます。この位置から別の位置に切り替えるときは、露出補正ダイヤルロックボタンを押しながら回してください。
- ファインダー内に補正値を示すバーグラフと
 が表示されます。
 - *露出補正はバルブでは使えません。
 - *露出補正は、-3~+3段階[EV]の範囲で 0.3 段階[EV] ごとに行なえます。
 - *バーグラフの の移動量1つが 0.3 段階 [EV] に相当
 - *マニュアル露出での露出補正では、ファインダー内に露出補正値を示すバーグラフは表示されず、マニュアル露出のオーバー・アンダーを示すバーグラフだけが表示されます。ただし、 2 は表示されます。バーグラフの を中心に合わせれば、設定した補正値での撮影ができます。

オートブラケット撮影

53

応用的な使い方





露出補正が必要だが補正値を決定しにくいときなど、 3コマ連続の段階露出を行うことができます。

- オートブラケットレバーを希望の補正値に合わせ、シャッターボタンを押しつづけると、 設定した補正量に従って3コマ連続で撮影できます。
 - *補正量は、例えばオートブラケットレバーの設定を1にすると、1コマ目= ± 0 (適正)、2コマ目=-1EV、3コマ目=+1EV となります。

- *ファインダー内のバーグラフの の移動量1つが 0.3EV に相当します。
- *測光は1コマごとに行われますが、ピントは1コマ目の位置で固定されます。
- *一度、ファインダー内の表示が消えると、一コマ目撮影前の状態に戻ります。

露出補正との組み合わせ

露出補正と併用すると、補正した値を基準にしてオート ブラケットが働きます。

マニュアル露出との組み合わせ

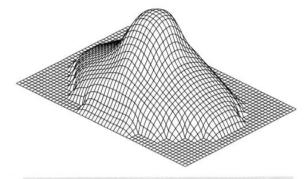
マニュアル露出(シャッターダイヤル X 位置を除く)でもオートブラケット撮影ができます。この場合はシャッター速度だけが段階的に変化します。ファインダー内には、露出値を示すバーグラフは表示されますが、補正値を示すバーグラフは表示されません。

このカメラでは、撮影者の好みで測光モードを分割測光 から中央重点測光あるいはスポット測光に切り替えるこ とができます。

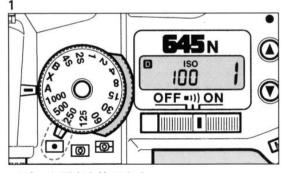
中央重点測光を使います

分割測光のようにカメラ任せで露出を決めるのでは なく、経験的に補正をして明るさを決める場合など にご利用ください。

測光方式切り替えレバーを図の緑の部分を持って 図 位置に合わせます。



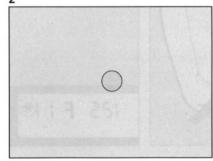
- * 測光分布は、図のようになっており、高さが高い部分 (中央部分) ほど感度が高いことを表わしています。
- *中央重点測光では、分割測光のように逆光のときなどで、 カメラが自動的に露出を補正しませんので、経験的に露 出を補正して撮影したい場合などにご利用ください。



スポット測光を使います

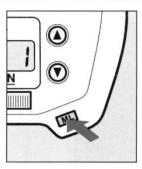
スポット測光は、限られた狭い範囲だけの明るさを 測りたいときに使います。

測光方式切り替えレバーを図の緑の部分を持って
 位置に合わせます。



- 2. 図のように、中央の限られた狭い範囲だけの 明るさを測ります。
 - *中央部とそれ以外の周辺部との明暗差が大きい場合には、 全体の明るさを考慮して露出を決めないと、不自然な写真になってしまいます。

55





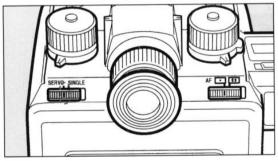
- *メモリーロックボタン ML を押してから 20 秒間はタ イマーが働き、ボタンから指を離しても露出が記憶され ています。
- *メモリーロック中にシャッターボタンを半押ししたまま にすると、メモリーロックボタン ML から指を離して もメモリーロックはそのまま継続します。
- *メモリーロック中にもう一度メモリーロックボタン ML を押すと解除できます。
- *マニュアル露出ではメモリーロックはできません。

メモリーロックは、撮影前の露出をカメラに記憶さ せるもので、スポット測光と組み合わせて使用する と便利です。

被写体が非常に小さく適正露出を得るのが難しい状 態のときなどにお使いください。

露出を合わせたい物にカメラを向け、メモリー ロックボタン ML を押すと露出が記憶され、 ファインダー内に * が表示されます。

AF モードをサーボにします



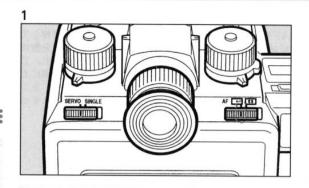
シャッターボタンを半押ししている間、写したい物 の位置が変わっても、それに合わせて連続的にピン トを合わせ続けます。ピントが合っていなくてもシャッ ターボタンを押し込めばいつでもシャッターは切れ ます。

AFモード切り替えレバーを SERVO 位置に合 わせます。

動体予測

AFモードが SERVO では、シャッターボタン半押しで ピント合わせをしているときに、カメラが写す物を動体 と判断すると、自動的に動体予測に切り替わります。こ の場合には、レンズが連続的に駆動し、常に写す物にピ ントを合わせ続けます。ただし、連続撮影の場合、2コ マ目以後は、ピントが合わないとシャッターが切れませ No





ある特定の狭い範囲だけにピントを合わせたいとき にお使いください。

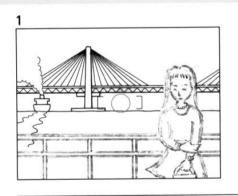
AF エリア切り替えレバーを ① 位置に合わせます。



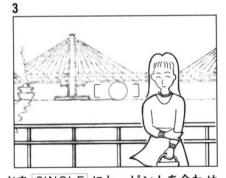
- 2. スポットAFでは、図で示す円の内側にだけピントが合います。
- * ピントを合わせたい物が画面中央にない場合には、フォーカスロックをご利用ください。[59 ページをご覧ください]

フォーカスロック撮影について

59





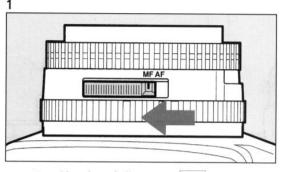


スポットAFでのピント合わせは、ファインダー内のスポット範囲円○の内側だけで行なわれますから、ピントを合わせたいものが○から外れていると写したい物にピントが合いません。

- 1. スポット範囲円 O が外れたままで撮影する と、図のように後ろにピントが合ってしまい ます。
- *フォーカスロックは、できるだけスポットAFでの使用をお勧めしますが、3点AFでも可能です。
- 2. AFモードを SINGLE にし、ピントを合わせ たいものにスポット範囲円 を合わせ、シャッターボタンを半押し状態にして を点灯 させたままにしておきます。
- 3. シャッターボタンを半押しのまま、元の構図 に戻して、さらにシャッターボタンを押し切っ て撮影します。
 - *シャッターボタンから指を離して、ファインダー内の ○ が消えると、フォーカスロックは解除されます。
 - * 別の場所にフォーカスロックをするときは、一度シャッ ターボタンから指を難してから再び、押し直してください。

61

手動によるピント合わせ

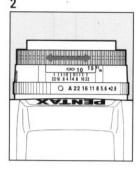


ファインダー内の合焦マーク O を利用する 場合

使い方

応用的な使い方

- レンズ側をマニュアルフォーカスに切り替えます。
- *レンズ側の切り替え方法はレンズによって異なります。 詳しくは、レンズの説明書をご覧ください。





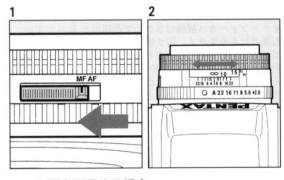
- ファインダーを覗きながらシャッターボタン を半押しした状態で、レンズの距離リングを 左右に回してください。
- 3. ピントが合うとファインダー内の合焦マーク
 が点灯して知らせます。そのままシャッターボタンを押し切って撮影してください。

- * カメラ側にはオートフォーカスとマニュアルフォーカス の切り替えはありません。
- *レンズがAレンズ[LSレンズを含む]の場合やオート接写 リングA645・リアコンバータA645などのアクセサリー を使用した場合も同じ使い方ができますが、カメラの設 定に関係なくファインダー中央のスポット範囲円の内側 でのみピント合わせが行われます。
- *ファインダー内の合焦マーク が使えるのは、レンズの明るさがF5.6および、それより明るい場合です。

オートフォーカスが使えない場合

以下の理由で、オートフォーカスやファインダー内の合 焦マーク ○ が使えない場合は、ファインダーのマット 面を利用した手動ピント合わせをしてください。

•「オートフォーカスの苦手な物」で合焦マーク ○ が 点滅しているとき。62ページをご覧ください。



マット面を利用する場合

使い方

- レンズ側をマニュアルフォーカスに切り替えます。
- 2. ファインダーを覗きながら、レンズの距離リングを左右に回してファインダー内の映像が最もはっきり見えるようにピントを合わせ、撮影してください。
 - *レンズ側の切り替え方法はレンズによって異なります。 詳しくは、レンズの説明書をご覧ください。

オートフォーカスの苦手な物

オートフォーカス機構はきわめて高精度のものですが、万能ではありません。写す物が下記のような場合には、ピントが合わないことがあります。ファインダー内の合焦マーク 〇 を利用しての手動ピント合わせも同様です。そんなときは、写す物とほぼ等しい距離にフォーカスロックをしたり、従来のカメラと同様にファインダーのマット面を利用して手動ピント合わせを行なってください。フォーカスロックについては、59ページを、マット面を利用したピント合せについては左をご覧ください。

- a) AFフレーム [] の内側に白い壁などの極端にコントラスト[明暗差]の低い物だけの場合。
- b) AFフレーム [] に光を反射しにくい物がある場合。
- c) 非常に速い速度で移動している物。
- d) 遠近のものがAFフレーム [] の中で同時に存在する場合。
- e) 反射の強い光、強い逆光 [周辺が特に明るい物]。
- f) 格子など繰り返しパターンの場合。

アクセサリーの注意

以下の条件では、オートフォーカスやファインダー内の 合焦マーク ○ を利用した手動ピント合わせができませ ん。61ページの手順に従って、ファインダー内のマット 面で手動ピント合わせをしてください。

- a) 特殊なフィルターなどを使った場合。
- b)「接写リング」や「オートベローズ」を使った拡大接 写撮影の場合。

偏光フィルターについて

オートフォーカス機構の一部にハーフミラーを使用していますので、一般の偏光フィルターを使うとオートフォーカスの精度が低下します。オートフォーカスで使用するときには円偏光フィルターをご利用ください。また、露出の精度も低下しますので、円偏光フィルターの使用をお勧めします。

撮影データをフィルムに写し込みます

63

このカメラは、撮影時のフィルム枚数・露出モード・シャッター速度・絞り値などの撮影データをフィルムに写し込む ことができます。撮影データの写し込みは、フィルムの余白部分に印字されます。

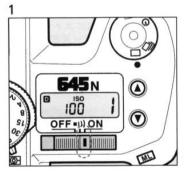
- *撮影データの写し込みは、表示パネルに D が表示されている時に行われます。また、撮影データを写し込まないようにすることもできます。65ページをご覧ください。
- *撮影データの文字がフィルム上に印刷してある文字と重なることがあります。

フィルムに写し込まれる撮影データについて

撮影データは、図のようにフィルムの余白部分に写し込まれます。詳しくは、64ページをご覧ください。

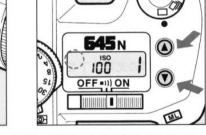


項目	内容[印字例]
- 11 / 15 #45	1~99枚までの写し込みが可能です。
フィルム枚数	印字例 1、10、33、95 など
露出モード	$M(マニュアル露出) \cdot Tv(シャッター優先自動露出) \cdot Av(絞り優先自動露出) \cdot P(プログラム自動露出)で写し込まれます。$
	印字例 M、Tv、Av、P
シャッター速度	基本的には、ファインダー内に表示された数値が写し込まれます。バルブ撮影時は9999秒までの露光時間が写し込み可能で、それ以上は \overline{BULB} と印字されます。レンズシャッター付きレンズ使用時は \overline{LS} 、シャッターダイヤル \overline{X} 位置使用時は \overline{X} と印字されます。
	印字例 1/1000、1/60、10''、30''、B4''、B9999、BULB、LS、X など
絞り値	基本的には、ファインダー内に表示された数値が写し込まれます。ただし、 67 レンズアダプター 645 やヘリコイド接写リングなど情報接点のないアクセサリーを使用した場合は、 F - が写し込まれます。
	印字例 F2.8、F4、F5.6、F13、F など
露出補正値	露出補正をかけていない場合は $\pm 0.0 \mathrm{Ev}$ と写し込まれます。オートブラケットの補正値も写し込まれます。露出補正との併用時は、加算値が写し込まれます。
	印字例 +0.4Ev、+2.0Ev、-0.7Ev、-0.3Ev、±0.0Ev など
'nd M	[#] (分割測光)・[#] (中央重点測光)・[* (スポット測光)のマークで写し込まれます。
測光方式	印字例 [[+]] 、 [+] 、 [+]
焦点距離	焦点距離の写し込みは、オートフォーカス可能なFAレンズのみで可能です。 ズームレンズの場合は、焦点距離の近似値が写し込まれます。 Aレンズおよびリアコンバーターなどのアクセサリーを使用した場合は、「mm」が写し込まれます。
	印字例 45mm、55mm、75mm、80mm、100mm、160mm、300mm、mm など



写し込みをなくすための操作 1. **電源を入れます**。





- 2. プレビューレバーを図の方向に押しながらアップ/ダウンボタンのどちらかを操作すると、表示パネルの **3** 表示が消えます。
 - * 再び撮影データを写し込むには、同様の操作で表示パネルに 📵 を表示させてください。
 - *多重露出では、最後のコマのデータだけが写し込まれま す。
- *極まれに撮影データが画面の右端にわずかに掛かることがあります。 この部分に大切な被写体がくる場合は、念のため、データの写し込みをなしにしてください。

応用的な使い方

外付けストロボの使い方

TTLオートで使います

- 1. カメラのホットシューに付いているホットシューカバーF_kを外し、ストロボを取り付けます。
- 2. ストロボの電源スイッチを入れます。
- 3. ストロボの発光モードをTTLオートにします。
- 4. ストロボの充電完了を確認します。
- 5. ピントを合わせて撮影します。
 - *ストロボの充電完了ランプが点灯すると、カメラのシャッターボタンを半押ししたときに、ファインダー内の も点灯しますので、ファインダーでも充電完了の 確認ができます。
 - *外付けストロボの詳細については、外付けストロボの説 明書をご覧ください。

オートブラケット撮影について

TTLオートストロボ撮影でオートブラケット撮影を行うと、ストロボの光量だけが変わります。

ストロボお勧めマークについて

シャッターボタン押しでファインダー内にストロボお勧めマーク か点滅した場合、シャッター速度が低速になりカメラぶれを起こしやすくなります。 三脚をお使いいただくか別売のストロボをご使用ください。 タマークが点滅したまま撮影しても露出には問題ありません。

* の点滅は、露出モードがプログラム・絞り優先では写したい物が暗い場合と逆光の場合に、シャッター優先自動露出では逆光の場合にのみ表示されます。ただし、逆光時に が点滅するのは、測光方式が分割測光の場合だけです。

露出補正について

TTLオートストロボ撮影で露出補正を行うと、ストロボ光量と背景の明るさを同時に変えることができます。ただし、マニュアル露出では、補正後そのまま撮影を行うと、ストロボの光量だけが変化し、バーグラフの ■ を中心に合わせると、背景とストロボ光の両方が補正されます。

当社製ストロボ組み合わせ時の機能一覧

カメラの機能	TYPE A	TYPE B	TYPE C	TYPE D
ストロボ充電完了で、ストロボの同調速度に自動的に切り替わる。	0	0	0	0
プログラム自動露出、シャッター優先自動露出 では絞りが自動セットされる。	<i>a</i> O	0	○注1	○注1
ファインダー内でオートチェックができる	0	0		
TTLオートストロボ撮影ができる。	0	0	○注2	
シャッター優先自動露出、マニュアル露出では 低速シンクロができる。	0	0	0	0
AFスポットビームが使える。	0	0		
後幕シンクロ撮影ができる。	0	0		
光量比制御モードで撮影できる。	0			

TYPE A: AF500FTZ[注3]、AF330FTZ

TYPE B : AF400FTZ, AF240FT

TYPE C: AF400T, AF280T, AF200T, AF080C,

AF140C, AF200SA

TYPE D: AF200S, AF160, AF140

注1: TYPE C[AF200SAを除く]のストロボで、MS[マ

ニュアルシンクロ]、M[マニュアル]を使うときや

TYPE Dのストロボを使うときは、絞り優先自動露出、マニュアルおよびバルブで撮影してくださ

い。プログラムおよびシャッター優先自動露出で

は、絞りが変化してしまいますので使えません。 注2: AF200SAは不可。

注3:マルチストロボ、スレーブ機能が働きます。

67

AF500FTZ, AF330FTZ

- ●暗くてオートフォーカスの苦手な物でも、AFスポットビーム[赤色の補助光]を自動的に投光しますので、 オートフォーカスを働かせることができます。
- ●オートズーム機構付きですから、レンズの焦点距離に 対応して自動的に照射角度が変化します。 [FAレンズ 使用時のみ]
- ●スレーブ機能[コードレス]がご利用できます。 [AF50 0FTZのみ]
- ●ストロボの液晶表示で、撮影可能距離を確認できます。 ●マルチ発光モードがご利用できます。[AF500FTZの
- ●露出モードがプログラム自動露出、シャッター優先自動露出、絞り優先自動露出であれば、ストロボの発光モードがマニュアルでも自動的にTTLオートになります。
- ●充電完了後およそ3分以上放置したときは、ストロボの 電源が自動的に切れます。カメラのシャッターボタン を半押しするとストロボの充電が再開されます。

AF240FT, AF400FTZ

- ●暗くてオートフォーカスの苦手な物でも、AFスポットビーム[赤色の補助光]を自動的に投光しますので、 オートフォーカスを働かせることができます。
- ●露出モードがプログラム自動露出、シャッター優先自動露出、絞り優先自動露出であれば、ストロボの発光 モードがマニュアルでも自動的にTTLオートになります。
- ●充電完了後およそ5分以上放置したときは、ストロボの 電源が自動的に切れます。カメラのシャッターボタン を半押しするとストロボの充電が再開されます。

AF200T, AF280T, AF400T

●TTLオートモードで使用すると、周りの明るさによってシャッター速度が 1/60 秒から低速側は手ぶれをしないシャッター速度まで自動的に変化します。 なお、シャッター速度の低速限界はレンズの焦点距離によって変化します。ただし、Aレンズ[LSレンズを含む]使用時は 1/60 秒固定になります。絞り値は固定となりますが、フィルム感度により変化します。

●外光オート[赤・緑・黄位置]で使用すると、絞りは下表のように切り替わります。充電が完了すると、シャッター速度も1/60 秒から低速側は手ぶれをしないシャッター速度の低速限界はご使用レンズの焦点距離によって変化します。ただし、Aレンズ[LSレンズを含む]使用時は1/60 秒固定になります。

	AF200T	AF280T	AF400T
赤	F2.8	F4	F4
緑	F5.6	F8	F8
黄			F11

[ISO 100 の場合]

外付けストロボの多灯撮影

2個以上の外付けストロボを同時に使用する場合は、69ページのストロボ機能一覧表の同じタイプどうしを組み合わせるか、TYPE A と TYPE B あるいは TYPE C と TYPE D の組み合わせでお使いください。

他社製ストロボを使用した場合

- 他社製ストロボ[特に高電圧や高電流のストロボ]を組み合わせると、故障の原因になる場合があります。ペンタックス専用オートストロボの使用をお勧めします。
- カメラのXシンクロソケットにコードを接続した場合は、連動機能は働きません。
- ・スタジオ用の大型ストロボでは、極性が逆のものがあります。このタイプでは、645Nと組み合わせてもストロボが発光しません。詳しくは、ストロボメーカーにご相談ください。また、後幕によるケラレを防ぐため、念のため、同調速度より一段低いシャッター速度を使用し、事前にテスト撮影をされることをお勧めします。

日中シンクロについて



ストロボなし

応用的な使い方



昼間の明るいときでも、帽子などで人物の顔が陰に なってしまうような場合に、ストロボを利用すると 陰の取れたきれいな写真が撮れます。

日中シンクロのやり方は、一般のストロボ撮影 とまったく同じですから、そのままシャッター ボタンを押すだけで簡単にできます。

*背景が明るい場合には、露出オーバーになることがあり ます。

低速シンクロについて

71

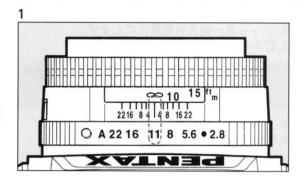
夕景などを背景に人物撮影をするとき、低速シンク 口を利用すると人物も背景もきれいに写せます。

マニュアル露出の場合

- 1. ストロボの電源スイッチを入れます。
- 2. マニュアル露出にします。
- 3. 適正露出になるように適当なシャッター速度 [1/60 秒以下の低速]と絞りを選んでくださ 61
- 4. 撮影します。
 - *マニュアル露出では、「1.」の操作は撮影前のどの時 点で行なっても結構です。

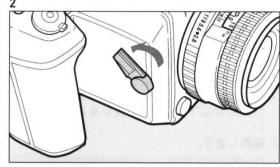
シャッター優先自動露出の場合

- 1. シャッター優先自動露出にします。
- 2. 好みのシャッター速度を選びます。
- *ファインダー内の絞り値表示が点滅していると背景が適 正露出になりませんので、点滅がなくなるシャッター速 度を設定してください。
- 3. ストロボの電源スイッチを入れます。
- 4. 撮影します。
 - *「2」の操作の前にストロボの電源を入れると、背景が適 正露出になりませんので、シャッター速度を選んでから 電源を入れてください。
 - *低速シンクロの場合は、カメラぶれを防ぐため三脚をご 使用ください。



ファインダーを覗いたまま被写界深度(ピントの合 う範囲)を確認できます。

1. 絞りを A 位置以外にします。



- 2. ファインダーを覗きながらプレビューレバー を図の方向に押すと、深度の確認ができます。
 - *プレビューレバーを押すとセットされている値まで絞り が絞られ、ファインダー内の表示は消えます。
 - *プレビューレバーを押したままでは、シャッターが切れ ません。
 - *プレビューレバーを押すときは、必ず絞りを A 位置か ら外してください。

専用アクセサリー「別売」について

●マクロストロボAF140C ガイドナンバー14の接写用ストロボ。

問い合わせください。 ●ケーブルスイッチF 645_N, MZ-3, MZ-5, Z-70_P, Z-5_P, Z-20_P,

このカメラには、各種専用アクセサリーが用意

されています。詳しくは、各サービス窓口にお

Z-1_P、Z-50_P、SFX_N等に使えるケーブルスイッチ。

●ケーブルレリーズ30/50 レリーズネジ穴のあるカメラに使えるレリーズコード。

マグニファイヤー645 ファインダー中央部を拡大して見るアクセサリー。

■レフコンバーター645 ファインダーを見る角度を90°間隔に変えることがで きるアクセサリー。

●オートストロボAF500FTZ ガイドナンバー50のAFスポットビーム内蔵オートズー ムストロボ。スレーブ機能、マルチ発光や先幕・後幕 シンクロ撮影などが可能。

●オートストロボAF330FTZ ガイドナンバー33のAFスポットビーム内蔵オートズー ムストロボ。先幕・後幕シンクロ撮影などが可能。

●ホットシューアダプターFg、延長コードF5P、オフカ メラシューアダプターF AF500FTZ・AF240FT・AF330FTZ・AF400FTZを カメラから離してストロボ撮影するときのアダプター とコード。

- ●フィルター スカイライト・曇天用・UV・Y2・O2・R2・円偏光 があります。フィルター径は49mm・52mm・58mm・ 67mm • 77mm の5種類です。
- ●リモートバッテリーパック645 寒冷地などで使用する電池保温用のアクセサリー。
- フィルムバック645 120用と220用の2種類があります。
- ●AF400T ブラッケット645 AF400T を 645 や 645 N に付けるためのアクセサリー。
- ●クイックシュー カメラと三脚の迅速な着脱を可能にするアクセサリー。
- ●645ソフトケース(ブラック) 柔らかいバックスキンタイプのケースです。



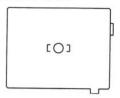
●交換フォーカシングスクリーン

フォーカシングスクリーンは、標準スクリーンを含め下記の4種類が用意されております。

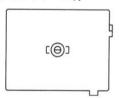
交換方法については、スクリーンの使用説明書をご覧く ださい。

AS-80(AF センタースポットマット)

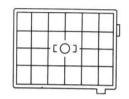
一般撮影用、標準品



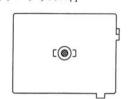
AB-82(AFスプリットイメージマット) スプリットイメージ付



AG-80(AF方眼マット) 構図設定用(9mm 間隔の方眼付)



AA-82(AFマイクロプリズムマット)マイクロプリズム付



75

アクセサリーの注意

- ●接写リングなど、絞りの連動がきかないアクセサリーを使用した場合や旧タイプのストロボで、絞りが A 位置で使えないものの場合は、絞りを A 位置から外してご使用ください。
- ●オートフォーカス機構の一部にハーフミラーを使用していますので、一般の偏光フィルターを使うとオートフォーカスの精度が低下します。オートフォーカスで使用するときには円偏光フィルターをご利用ください。また、露出の精度も低下しますので、円偏光フィルターの使用をお勧めします。
- ●リモートバッテリーパック645を使う場合、カメラ本体の電池ホルダーがセットされていないと電源が入りません。

リアコンバータについて

●レンズの種類や被写体(光)の状態によっては露出補正が必要になります。リアコンバータA645を使用した場合、露出が多少オーバーになります。

 $1.4 \times \text{では約} - 2/3 \sim -1 \text{EV}$ 、 $2 \times \text{では約} - 1 \text{EV}$ の露出補正を行ってください。(お好みの補正量を見つけるために、実写で確認することをお勧めします。)

●ダブルレリーズAが同梱されていないオートベローズ 645 をこのカメラに使用しても、シャッターが切れま せん。別売りのダブルレリーズAを下記のように取り 付けてご使用ください。

ダブルレリーズAの取り付け方法

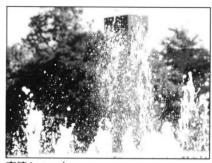
- ダブルレリーズAの赤い輪の付いている方をオートベローズ 645 の前枠下側の赤い輪の付いているレリーズ穴にねじ込みます。
- 2. もう一方をカメラのレリーズねじ穴にねじ込みます。

ダブルレリーズAを押したとき、レンズが最小絞りまで 絞られた後、シャッターが切れるように調整をしてくだ さい。最小絞りまで絞られる前にシャッターが切れると きは、先端に赤い輪が付いている方のレリーズの出方を 多く、または、もう一方の出方を少なくしてください。

ダブルレリーズAの調整方法

先端のつまみを先の方から見て左方向に回してから、先端のつまみを押さえ、後方のつまみを同様に左方向に回して固定するとレリーズの出方が多くなります。 逆に後方のつまみを右方向に回してから、後方のつまみを押さえ、先端のつまみを右方向に回すと出方が少なくなります。

絞りとシャッター速度の効果



応用的な使い方



低速シャッタ-

写したい物[被写体]の適正露出を決めることは、シャッ ター速度と絞り値の組み合わせを決めることです。とこ ろが、写したい物が同じ明るさであってもシャッター速 度と絞り値の組み合わせはいくつもあり、この組み合わ せを選ぶことにより写真の効果を変えることができます。

シャッター速度の効果

シャッター速度は、光がフィルムに当たっている時間を 長くしたり、短くしたりしてフィルムに当たる光の量を 調節しています。

シャッター速度が遅ければ、シャッターの開いている時 間が長くなるため、もし、このとき写したい物が動いて いれば、当然写したい物がぶれてしまいます。逆にシャッ ター速度を速くすると、動きのある物でも動きを止めて 写すことができます。また、写したい物が動いていなく てもシャッター速度を速くすると、シャッターを切ると きにカメラが動いてしまうカメラぶれを防ぐ効果もあり ます。また、川や滝、波などを低速のシャッター速度で 写すと動感のある写真になります。



小絞り側



開放絞り側

絞りの効果

絞りは、レンズを光が通るときの光束[光の太さ]を大き くしたり、狭くしたりしてフィルムに当たる光の量を調 節しています。

絞りを開いて光束を広くすると、ピントを合わせた物に 対してその前後の物のボケが大きくなります。つまり、 ピントの合う範囲[被写界深度]が狭くなります。逆に、 絞りを絞って光束を狭くすると、ピントの合う範囲が広 くなります。

例えば、風景の中で人物を撮影するときに、絞りを開い て撮影すると、ピントを合わせた人物の前後の風景のボ ケが大きくなるため、人物だけが浮かび上がる効果があ ります。

逆に、絞りを絞ると前後の風景にまでピントを合わせる ことができます。

応用的な使い方

応用的な使い方

サービス窓口での改造について

下記の8項目は、サービス窓口にご用命頂ければ改造(有料)を承ります。 複数項目の改造であっても、同時にご依頼頂ければ料金は同じとなります。 詳しくは、サービス窓口にお問い合わせください。

(1)シャッター速度の 0.5 段階(0.5EV)改造

シャッター優先・マニュアル露出時に設定されているシャッター速度に対して、±0.5段階の範囲でシャッター速度を設定できます。

(2)プログラムシフト改造

プログラム自動露出時に0.5EVステップでプログラムシフトができます。

(3)バルブタイマー改造

バルブ露出時に4秒から500秒までの間で設定できます。

(4)オートブラケットのステップ変更改造

オートブラケットレバーを「2/3」位置に合わせた場合、1/2の補正量で制御されます。

(5)オートブラケット順序変更改造

オートブラケットを「適正→アンダー→オーバー」の順にするか「アンダー→適正→オーバー」の順にするかを自由に選択するごとができます。

(6)ファインダー内へのフィルム本数とフィルム枚数の表示及び、フィルムへのフィルム本数の写し込み改造

ファインダー内へのフィルム本数および、フィルム枚数の表示を可能にするとともに、フィルムへのフィルム本数の写し込みを可能にします。

(7)フィルム枚数減算表示改造

フィルム枚数表示を「 $1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot \cdots$ 」のように加算か「 $16 \cdot 15 \cdot 14 \cdot \cdots$ 」のように**減**算表示にするかを自由に選択することができます。

(8)測光タイマー時間変更改造

測光タイマーの時間を5・10・20・30秒のいずれかに変更できます。

79

改造時の注意事項

- ●項目 (2) の改造をしても、ファインダー内や表示パネルで、プログラムシフトをしているかどうかの確認はできません。
- ●項目 (4) の改造を行い「1/2」を選択しても、ファインダー内のバーグラフの点滅表示や、オートブラケットレバーの数字は「2/3」のままです。ただしフィルムには「-0.5EV」「+0.5EV」で写し込まれます。
- ●項目 (6) では、フィルム本数の上限は200までで、201本目は1に戻ります。ただし、200本目に限りファインダー内には、100が表示されます。この場合もフィルムには200が正しく写し込まれます。
- ●項目 (6) の改造を行うと、フィルムに写し込まれるフィルム本数の数字が画面内に入り込み、データが見えにくくなることがあります。

Ⅳその他について

こんなときは?

修理を依頼される前にもう一度、次の点をお調べください

症 状	原因	処 置	参照ページ
シャッターが切れない。	フィルムの規定枚数を撮り終えている。	フィルムを取り出してください。	25 ページ
	電源が OFF になっている。	電源をONにしてください。	14 ページ
	バッテリー警告 1 が出ている。	電池を交換してください。	12、15ページ
	セルフタイマーになっている。	セルフタイマーを解除してください。	39 ページ
フィルム枚数が 1 にならない。	フィルム装填後電源を ON にしシャッターボタンを押していない。	フィルム装填後電源を ON にしシャッターボタンを押してください。	22 ページ
表示パネルに表示が出ない。	電源が OFF になっている	電源をONにしてください。	14 ページ
	電池が入っていない。	電池を入れてください。	12 ページ
	電池が逆に入っている。	電池を正しく入れてください。	12 ページ
	電池が完全に消耗している。	電池を交換してください。	12 ページ
ピントが合わない。	ピントを合わせたい物[被写体]にAFフレーム [] が合っていない。	写したい物をAFフレーム [] に入れて撮影してください。	36 ページ
	写したい物に近づきすぎている。	写したい物から離れてください。	36 ページ
	レンズがマニュアルフォーカスになって いる。	レンズをオートフォーカスにしてください。	32 ページ
	オートフォーカスの苦手な物	フォーカスロックを使うか、マット部分 でのピント合わせをしてください。	59、62 ページ

81

症 状	原因	処 置	参照ページ
ファインダー内の O が点滅す る。	撮影する距離が近すぎたり、オートフォーカスの苦手な物などのためピント合わせができない。	フォーカスロックを使うか、マット部分でのピント合わせをご利用ください。	59、62 ページ
表示パネルの Ε が点滅する。	フィルムが正しく入っていません。	もう一度フィルムを正しく入れ直してく ださい。	22ページ
	フィルムバックとカメラの接触不良の可 能性があります。	フィルムバックの着脱を何度かしてみて ください。	23ページ
表示パネルの 🚺 が点滅する。	多重露出にセットされている状態でフィ ルムを入れようとしています。	多重露出を解除し、シャッターボタンを 押し直してください。	22ページ
表示パネルの「Err」が点灯する。	カメラの異常の可能性があります。	途中巻き取りボタンを押してフィルムを巻き取り、 Err 表示を消した後、サービス窓口にご相談ください。 途中巻き取りボタンを押しても Err 表示が消えず、バッテリー警告 が 点滅しているときは、新品電池に交換してから再度途中巻き取りボタンを押してください。	

静電気などの影響により、希にカメラが正しい作動をしなくなることがあります。このような場合には、一旦電池を入れ直してみてください。また、ミラーが上がったままになった場合には、電池を入れ直してから電源をON にし、シャッターボタンを押し込んだまま電源をOFF にすると、ミラーが下がります。これらを行ないカメラが正常に作動すれば故障ではありませんので、そのままお使いいただけます。





その他について

電池消耗警告 大きさ・質量[重さ]

付属品

その他について

```
電子制御式、始動はシャッターボタン、作動時間12秒[電子音]、作動後解除可能
セルフタイマー
             クイックリターンミラー、オートフォーカス用第2ミラー付
ミラー
             120·220 フィルムバックはスタートマークによるセミオートローディング、70mm フィルムはオートローディ
フィルム入れ
             ング
             内蔵モーターによる自動巻き上げ(シャッターボタンによる作動)、1コマ撮影・連続撮影[約2コマ/秒]、
巻き上げー
             途中巻き取り可能
             TTL開放デュアル6分割測光、測光範囲 75mmF2.8 ISO100 EV2~21、中央重点・スポット測光可能
露出計・測光範囲
             ±3EV[0.3EVごと設定可能]
露出補正
             多重露出レバーによるセット
多重露出
             ボタン式(タイマー式20秒) シャッターボタン半押しで継続
メモリーロック -
オートブラケッティング-±1/3、±2/3 ±1を選択可
             ホットシュー[X接点専用ストロボ接点付き]専用ストロボ連動 同調スピード1/60秒、ISO連動範囲=25~
撮影データの写し込み -
             フィルムの画面余白に撮影時自動写し込み(解除可) 項目=フィルム枚数、露出モード、シャッター速度、
             絞り値、露出補正値、測光モード、焦点距離
             単3形電池6本使用(アルカリ、単3形リチウム使用可)、リモートバッテリーパック645による遠隔操作可能。
電源
```

ボディーマウントキャップ 645、ボディー後キャップ 645、レリーズソケットキャップF、カメラストラップ

150mm[幅]×111mm[高]×117mm[厚] 1280g

D、大型アイカップ、ホットシューカバーFK

[大きさ、質量はフィルムバック付、レンズ・電池はなし]

お問い合わせは次の各サービス窓口へ



ペンタックスフォーラム (ショールーム・写真展・修理受付)

☎03 (3348) 294 1代) **〒163-0401**

新宿三井ビル1階

(私書箱240号)



们台サービスセンター

☎022(371)6663代 〒981-3133

宮城県仙台市泉区 泉中央1-7-1

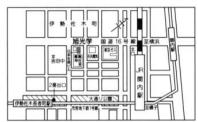
千代田生命泉中央駅ビル5階



東京サービスセンター

☎03(3571)5621(代) **T104-0061**

東京都中央区銀座西8-10 (土橋交差点交番並び)



市海

NHK

市上州

高兵駅

横浜サービスセンター

☎045 (232) 528 1代)

₹231-0047

神奈川県横浜市中区

羽衣町2-7-10 日本生命関内ビル8階



札幌サービスセンター

☎011(612)3231代) ₹060-0010

北海道札幌市中央区 北10条西18-36



県庁

名古屋サービスセンター

☎052 (962) 533 1代)

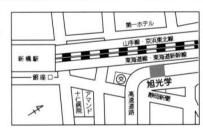
∓461-0001

愛知県名古屋市東区 泉1-19-8

■営業時間:●ベンタックスフォーラム

午前10時30分~午後6時30分

●各サービスセンター、お客様相談室 午前9時~午後5時(土・日・祝日休業)



お客様相談室

203 (3572) 6479 ₹ 104-0061

東京都中央区銀座西8-10 (土橋交差点交番並び)



大阪サービスセンター

206 (6271) 7996(代) ₹542-0081

大阪府大阪市中央区 南船場1-17-9





広島サービスセンター

2082 (234) 568 1(代)

₹730-0851

広島県広島市中区

榎町2-15

榎町ビュロー3階



福岡サービスセンター

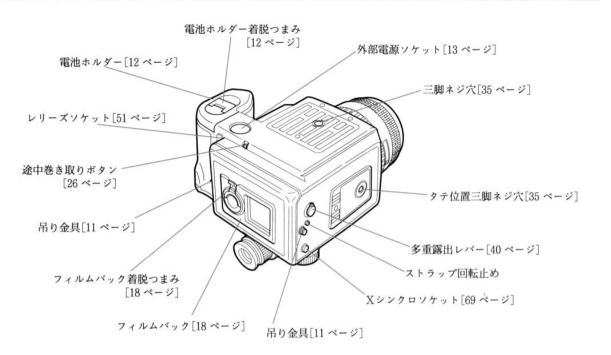
☎092(281)6868代)

〒810-0802

福岡県福岡市博多区中洲

中島町3-8

パールビル1階



アフターサービスについて

- ・ 旭光学のサービス窓口では、ペンタックスカメラをはじめ、各種交換レンズやアクセサリーが展示され、お手にとってご覧になれます。また、種々のご相談にも応じておりますので、お気軽にお立ち寄りください。
- 他社製品[レンズ・アクセサリー等]との組み合わせ使用に起因する故障については有料となります。
- 1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1 年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用 説明書に記載されている最寄りの当社サービス窓 口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、 当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理 品ご送付の場合は、化粧箱などを利用して、輸送 中の衝撃に耐えるようしっかりと梱包してお送り ください。不良見本のフィルムやプリント、また 故障内容の正確なメモを添付していただけると原 因分析に役立ちます。
- 2. 保証期間中[ご購入後1年間]は、保証書[販売店 印および購入年月日が記入されているもの]を ご提示ください。保証書がないと保証期間中でも 修理が有料になります。なお、販売店または当社 サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様に ご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸 掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご 負担いただく場合があります。

- 3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象には なりません。
 - ・使用上の誤り(使用説明書記載以外の誤操作等) により生じた故障。
 - ・当社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解による故障。
 - 火災・天災・地変等による故障。
 - ・保管上の不備(高温多湿の場所、防虫剤の入った場所での保管等)や手入れの不備(泥・砂・ホコリ・水かぶり・ショック等)による故障。
 - ・保証書の添付のない場合。
 - ・販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに 記載事項を訂正された場合。
- 4. 保証期間以後の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
- 5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後10年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
- 6. 海外旅行をされる場合国際保証書をお持ちください。国際保証書は、当社サービス窓口でお持ちの保証書と交換に発行しております。 [保証期間中のみ有効]



旭光学工業株式会社

〒|74-8639 東京都板橋区前野町2−36−9

ペンタックス販売株式会社

〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1

ペンタックスファミリーのご案内

ペンタックスファミリーは、ペンタックス愛用者の写真クラブです。年4回の会報と写真年鑑の配布、イベントへの参加や修理料金の会員割引など様々な特典があります。

お申し込み・お問い合わせは下記ペンタックスファミリー事務局 まで。

〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1

三宅坂ヒル3階 203 (3580) 0336

☆この使用説明書には再生紙を使用しています。

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。